

しみずの教育

ちよつといい話

【平成30年7月号】

清水小学校

校長 高井正樹

伝統を学ぶ

3年生になると、国語（書写）の学習で「習字」が始まります。書写ボランティアの皆さんには、筆の持ち方や筆の運び方などをきめ細かく指導していただいています。

また、4年生以上の子どもたちが、毎回楽しみにしているクラブ活動は、今年は、科学・ものづくり、野外活動、家庭科、バドミントン・ミニバレー、卓球、イラスト・折り紙、パソコンなど、10クラブに分かれて活動しています。華道・茶道クラブでは、今年も（何と15年目！）池坊帯広支部の佐川さんらにご協力をいただき、日本の伝統文化を学びながら素敵な華道作品を作っています。



食を学ぶ

栄養教諭の中島谷先生が、1年生の教室で食育の授業をしました。子どもたちは、箱の中に隠された食材を手で触り、形や硬さ、感触などをヒントに何が入っているかを当てる活動でとても盛り上がりました。隠されていた食材はその日の給食に使われているもの。子どもたちは、それぞれの食材の働きや食事の大切さを学び、興味・関心をもって給食を食べることができました。



7月の参観日

今月は3日間にわたり、低・中・高のブロックごとに参観日を開きました。天気が悪い中、大勢の保護者の皆様にご来校いただきました。

5年生は親子給食会と学年レクを通して交流を深めました。また、他の学年では、算数（1年）、音楽（2年）、道徳（3・4年）、理科（6年）の授業参観を通して、子どもたちが一步一步着実に成長しているところを見ていただきました。



御影小学校

石の子フェスティバル

7月13日（金）に石の子フェスティバルを開催しました。全校児童が8つのグループ（縦割り）に分かれての活動。活動の話し合い、お店の準備、後片付けまでしっかり行き、全員が活躍することのできる行事でした。当日は、放送による開会式後、出店の準備。子どもたちは、前半と後半に分かれてお店の運営とお客さんとしての活動をしました。地域の皆さんもたくさん来ていただき大変盛り上がりました。どのお店も楽しく工夫されたものばかり。順番待ちのお店もある程でした。子どもたちの自主性が伸びるとてもよい行事でした。とても湿度の高い中でしたが、保育所の園児のみなさん・ご来校されたみなさん、参加していただきありがとうございました。



1班 魚釣りランド



2班 一度入ったら出られない恐怖の理科室



3班 ラウンド3



4班 ゴーストラビリンス



5班 的をねらえ! スナイパーショット



6班 おとすな! ピンポンゲーム



7班 ぶにゅぶにゅスライム



8班 なその箱の中身はなあに



全校給食の風景

(教頭 川崎 広輝)

清水中学校

サッカー部のゴミ拾い

6/28(木)の放課後、グラウンドにサッカー部がない。今日は部活無しだったかな？とっていると、遠くから白い大きな袋を持った部員たちがこちらに向かって来ました。話を聞くと数年前、チーム状態が良くなかったのを見かねた外部コーチのSさんは、サッカーだけでなく地域のために何かできることを、と「地域のゴミ拾い」を始めたとのこと。今日は放課後、清水駅前からいくつかの班に分かれて、それぞれが学校に向かってゴミ拾いを行いました。最後は学校周辺のゴミ拾いをし、終了。集合写真を撮った後、誰かが「自分の心もキレイになったな〜」と、ちょっと照れくさそうにつぶやいていたのが印象的でした。地域のため学校のためにありがとう。



【ゴミ拾いの続き・・・】

そのゴミ拾いの際に、女性のものらしきポーチの落とし物を拾ったとのこと。きっと持ち主もさぞお困りだろうと交番に届けたそうです。

すると、すぐに持ち主が現れたようです。清水に実家のある札幌の方がたまたま法事でこちらに来ていたところ、保険証等の入った大事なポーチを落としてしまい、困っていたところだったそうです。まさかすぐに拾って交番に届けてくれたなんて！と、とても喜んでいました。ゴミ拾いをして、落とし物も交番に届けてくれたサッカー部の皆さんの取組にとっても感動し、清水の子どもたちはとてもすばらしいとお褒めの言葉をいただいたようです。

これらの取組は人のために、地域のために頑張ったことが結局は自分たちに「感謝」という形で返ってきました。本当に嬉しいことですね。

(教頭 須藤 正博)

高等学校を訪問しました

6月25（月）、26（火）、28日（木）の3日間、3年生が総合学習で高等学校訪問を実施しました。帯広南商業、清水、帯広農業、帯広工業の4校を訪問。これからの進路選択の一助にしようと毎年職業高校、総合学科の訪問を実施しています。

実際に高校の先生や先輩に説明を聞いたり、手ほどきを受けながら溶接や食品加工の実習をしたりすることで、高校の授業の雰囲気を感じることができたようです。



食品加工の体験でピザ作り（清水）

「最初の総合学科についての説明はとてもわかりやすかったです。（中略）教えてくれた高校生も優しくしてくれたのでよかったです。今まで以上に清水高校に行きたくなりました。」「農業高校がどのようなことをする学校なのかわかった。普通科とは違って実習などの授業がたくさん入っていて、もう社会に出て仕事をしているようだった。敷地内も広くて、さすが農高だと思った。学科ごとの施設や設備もしっかり整えられていてすごいと思った。」「工業高校では環境土木科の測定の授業を見学しましたが、難しそうでした。（中略）一番ワクワクしたのは電子機械科の機関車です。僕は汽車に乗るのが好きなので、生徒が一からあの機関車を作ったと聞いて驚きました。実際に乗ってみても、揺れなどがリアルですごく良かったです。」など、感想からも意欲が高まった様子が見えました。これからの進路選択に注目です。

（教頭 宗形真恵）



帯広工業高校での機関車試乗

清水高等学校

第71回清高祭 たくさんの方々のご協力とご来場に感謝！

校長 平野道雄

7月7日（土）～8日（日）、新たなスタートとなる第71回学校祭が開催されました。

初日のアトラクションは、雨の影響が残るグラウンドから会場を体育館に移して実施しました。そのため、残念ながら保護者の皆さんにお見せすることはできませんでしたが、ご来賓の清水町の阿部町長、審査員の伊藤教育長や清水小橋本教頭に見ていただきました。アトラクションの最後には、昨年に引き続き、北海道大学のよさこいサークル「縁」の皆さんと一緒に、体育館をめいっぱい使って総踊りで盛り上がりました。

大雨が心配された2日目の一般公開は、10時30分の開始の時間には気持ちのいい青空となり、校舎の外では模擬店から元気な声が響き、美味しいにおいが広がり、校舎内ではお客

4 1 回運動会…4年ぶりの晴天

運動会が近づくとつれて、外での練習が思うようにならず当日の天候が心配されましたが、年長さんの『てるてる坊主』が功を奏し、晴れてくれました。しだいに日差しも強くなり、額に汗がにじむ運動会日和となりました。

年長・中にとっても初めての外での運動会です。多くの応援団がいる中、少々緊張気味でしたが、たくさんの声援を受け一生懸命取り組んでくれました。子どもたちを温かく包んでいただき感謝しています。

祖父母の皆さんの「玉入れ」、保護者の皆さんによる「借り人競争」など笑いの中での楽しい一時となりました。また、父母と先生の会役員の皆様には、総練習はじめ多くのお手伝いをいただき、運動会を盛会裏に導いていただきました。当日の早朝に、多くのお父さんたちがかけつけ、テントや万国旗張りを手伝っていただけたことにも感謝です。



国際交流…運動会の種目に挑戦しました

6月27日（水）に、アメリカミシガン州チェルシーからの訪問団が幼稚園を訪れました。



英語活動として、マライアさんや棚田先生と英語にふれている年長さんたちですが、いざ話しかけると照れ屋さんになっていました。それでも質問コーナーでは、「どんな色が好きですか」「どんなアイスクリームが好きですか」と手を挙げて挑戦してくれました。交流のために、運動会で取り組んだ「ズバババーン体操」年少遊戯、年中・長の遊戯、年長の「組体操」を見てもらった後、一緒に組体操をしたり玉入れをしたり、オセロゲームにも汗を流してくれました。最後は一緒に写真を撮って名残惜しい中、帰路につきました。



第一保育所

野菜作りはじめました♪

年長児ひまわり組は5月から野菜作りを始めました！クラスで何を作るか話し合いをし「ラディッシュ」「にんじん」「大根」「枝豆」に決めました。種植えでは真剣に作業する姿が見られ、作物が成長を観察することも楽しみとなっています。先日、第一弾としてラディッシュを収穫しました。気になるお味は…やはり自分で作ったものは格別!!「おいしいー♪」の声が保育室に響き渡っていました。沢山おかわりをし、野菜が苦手なお友だちも食べていましたよ。

この活動を通して作物を育てることの喜びや大変さ等を学ぶことが出来ると嬉しいです。

(保育士 岡 那 奈)



晴れた！待っていた！運動会！

子どもたちは「晴れますように」と願いを込めて作ったてるてる坊主のおかげで、4年ぶりにグラウンドで行うことができました。この日のために一生懸命活動してきた子どもたち。当日は暑く照りつける太陽に負けにくいぐらいの明るい笑顔と、元気なパワーでどの競技も真剣に頑張ることができました。

勝敗に関わらず、練習の時から努力や協力を重ね運動会を全力で楽しむこと、一人ひとりが主役となって力を発揮することが何よりも大切だと、子どもたちの姿を見て実感しました。

3、4、5歳児の異年齢「なかよしリレー」では、一人ひとり前へ前へと走る姿がとてもしっかりよかったです。園児席から大きな声で「頑張れー!!」と他のクラス、お友達を応援する姿も素敵でした。0、1、2歳児クラスの子は泣いてしまったり、泣きそうになったりした子もいましたが、家族の方に見守られながら競技を頑張りましたね。

来年も、子どもたちの活躍を楽しみにしています。

(保育士 池 田 華 菜)

第二保育所

大地の恵みにありがとう！！

5月23日(水)、保育所前の畑に今年も種まきをしました。各クラス、色々な種類の種を保育者に教えてもらい「おいしくなあれ！」とおまじないをしながら土をかぶせました。少

しずつ大きくなっている野菜達を見て「早く食べたいなあ」等、会話が聞こえてきます。運動会も終わり、保育所のイチゴが鈴なり。小さいクラスから順番に収穫し、真っ赤になった美味しいイチゴを頬張り笑顔がいっぱいでした。

(保育士 堀 敦 子)



こんなに成長したよ！！

新年度がスタートして3ヶ月が経ち、りす組・ひよこ組のお友だちも元気に登所する姿が見られるようになってきました。活動の中でもお散歩が好きで、虫や花を見つけては目をキラキラさせ、友だちや保育者と共感し合う喜びを味わっています。保育所の中では小さいクラスのりす組（2歳児）、ひよこ組（0・1歳児）ですが、この3ヶ月で少しお兄さんお姉さんに。りす組のお友だちは、トイレトレーニングや身支度を頑張っています。衣服の着脱も「自分で！」と意欲的に行っています。ひよこ組のお友だちは名前を呼ばれると「はーい！」とお返事ができるようになりました。毎日の朝の会で名前を呼ばれることを心待ちにしている子どもたちです。自分の個人マークも覚え、座る場所や靴置き場もわかってきました。お父さん、お母さんから離れ泣いていた4月に比べると、できることが増え遅くなったなあと感じます。これからも友だち同士で刺激し合い、沢山の成長を見せてくれることでしょう。

頑張れ！！りす組さん！ひよこ組さん！



(保育士 林 田 寿美恵)

豊作になりますように・・・御影保育所 Farm

年長ひまわり組21名が、畑に種を植えました。

今年育つ野菜は、「にんじん・えだまめ・ピーマン・ミニトマト・きゅうり・たまねぎ」。種を穴の中に入れて、土をかけたりなど友だち同士で話をしながら進めていました。

毎日、畑を見て「葉っぱたくさんになってきた〜」「早くえだまめ食べたいな〜」と野菜の生長を楽しみにしている様子です。保護者の方も「大きく育ってきているね〜」と興味をもってお子さんと一緒に畑を見ている様子。普段、なかなか野菜の生長をみる機会が少ない子どもたち・・・。

この畑作りを通じて食べ物の生長に興味をもち、食べる楽しさや作ってもらう感謝の気持ちをもててくれたらと思います。



みんな楽しかった〜！！頑張った！！ 運動会

6月17日（日）第46回運動会が行われました。

天候が不安定だったので外で行えるか心配でしたが、子どもたちが頑張って毎日練習したパワーで無事に外で行うことが出来ました。子どもたちは、毎日練習に頑張っていました。特に年長児は、縄跳び、フープを練習し、また出来る子が練習中の友だちに教えてあげる事で仲間意識が育った様です。4・5歳児のバルーンでは、心と力を合わせて一つのことをする楽しさを感じられた様です。形が出来るとみんな拍手し、小さいクラスの子どもたちは憧れのまなざしで見っていました。0・1歳児のかけっこは、保護者の方に抱っこされたり、小さい足でかわいらしくゴールまで自分で歩いたりする姿や2・3歳児の笑顔いっぱいの踊りにたくさんの温かい拍手が送られました。保護者の皆様のご協力や温かいご声援のおかげで子どもたち、一人一人の頑張りが光る運動会となりました。



（保育士 中村 享子）

教育委員会

コミュニティ・スクール（CS）準備委員会が開催される

本町では来年度よりコミュニティ・スクール（以下CS）導入を予定しています。CSとは、学校運営協議会を置く学校で、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」を目指す取組です。



本町ではすでに10年以上前から、家庭・学校・地域が連携し、町民総ぐるみで子どもを育てる“しみず「教育の四季」”の取組を進めています。この取組はCSが求めるものと大きくは変わりません。

本町は文化的素養が高く、社会教育関係団体がたくさんあります。今までも学校へたくさんの町民の方が学習支援ボランティアとして協力していただいています。

そこで、“しみず「教育の四季」”推進協議会をCSに位置付け、多くの地域住民や保護者に子どもたちの成長に関わっていただける「地域とともにある学校づくり」に向けて、更なる発展に努めていきます。今年度は、CS導入に向けての準備を進めていきます。

7月10日（月）に第1回の準備委員会を開催しました。委員の委嘱に始まり、組織体制、今後の推進計画等について話し合いました。今後は、さらに規則の作成、構成メンバーの決定等がなされていきます。しっかりと検討し、スムーズに導入できるようにしていきたいと考えています。

準備委員会委員名

委員長 宝輪 博継校長 副委員長 西垣 輝明連P会長
委員 高井 正樹校長 真下 正則校長 塚原 雄二校長 谷 薫教諭 本田 香織教諭
石井 照江学校支援員 西 佳子学校支援員 山下 清美学校支援員
細田 秀夫学校支援員 安藤 國廣学識経験者
事務局 神谷 昌彦学校教育課長 佐々木 亘社会教育課長 本田 雅彦学校教育課長補佐
尾田 和哉総務係長 清水 彦一教育指導幹

（教育指導幹 清 水 彦 一）



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

夏〜かぐわしい香りの中で 志(夢)大きく高く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、できたら褒めて

一事徹底

地域は、みんな元気に

笑顔で挨拶